

期間 27年 5月26日〔火〕～6月23日〔火〕(全5回)

応募締切 5月12日〔火〕

実施場所 九州国際大学地域連携センター(サテライト・キャンパス)

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 (34ページ地図参照)

申込問合せ先 九州国際大学地域連携センター

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 TEL: 631-2203 FAX: 631-2204

時間 18:00～20:00

定員 30名

受講料 4,000円

講座概要

実施機関: 九州国際大学地域連携センター

日本各地には、地域の特色とそれを現在まで伝える産業があり、それを支えた生活関連の建築や土木遺構、機械記念物がいままなお多く遺っています。これらは近年「産業遺産」として注目を浴びています。

これら産業遺産の成り立ちを世界の産業革命以降の産業史と日本への技術導入から概観し、現存する各地の産業遺産を見ていくことで、日本の各地域の持つ特色と産業について深く知ることをこの講義では目的とします。各地域の魅力を自らの地域と比較していき、それぞれのまちの良さや問題点を知るきっかけにしたいと考えます。

月 日	テーマ・内容	担当講師
5月26日 (火)	産業遺産をめぐる諸事情 産業遺産が残される理由、また取り壊される原因について、ここ20年の国や地方における産業遺産への大きな見方の変化を通じて見ていく。	
6月2日 (火)	絹産業遺産群 ～富岡製糸場と桐生・岡谷・横浜～ 昨年世界遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとした近代日本の初期産業革命をリードした軽工業にまつわる産業遺産を紹介していく。	
6月9日 (火)	醸造業に関わる産業遺産群 ～日本各地のビール事始め～ ビールは明治時代に日本に本格的に普及した、近代を代表するアルコール飲料と言える。ラガービール登場に到る醸造業にまつわる技術史と日本への伝来・普及を産業遺産から見る。	九州国際大学 非常勤講師 産業考古学会 理事 市原 猛志
6月16日 (火)	金属鉱山と文化的景観 ～石見・別子・日立と鉱山開発史～ 世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」に代表される、日本の鉱山開発史と近代に大きく発展した各地の金属鉱山についてその特色を学んでいく。	
6月23日 (火)	明治日本の産業革命遺産 ～その国内的・世界的価値～ 今年世界遺産登録を予定する「明治日本の産業革命遺産」について、その概要を紹介し、その世界的なOUV (類似希なる普遍的価値)と国内における重要性について学んでいく。	